



題 字 青 山 杉 雨 先 生

発行
鴻徳神社社務所

〒273-0122
千葉県鎌ヶ谷市
東初富1丁目10番28号
TEL/FAX 047-444-6750
<http://www.kotoku-j.com/>



春の社頭風景

場を浄める

宮司 神尾真司

昨春まだ浅い頃、NHKラジオ午前四時からの「心の時代」で
 禅僧か学者か定かでないが教育現場で荒れた生徒を出さない方策
 として「場を浄める」「礼」「時間に節度をもたせる」この三つ
 である、と。私はこの放送が大好きで、それを楽しみに早起きを
 しているようなものだ。今朝は大阪平野区の靴下製造業社長の話
 だった。ある時は信州小諸の寺の住職が敗戦後、上野駅地下道の
 浮浪児四十数人を收容して立派に社会に送り出した話。テーマは
 毎回違っても兎に角楽しみな番組である。

ある日は、毎朝素手で会社のトイレの便器を洗ってから本業に
 取り懸る自動車用品会社社長の話に感動した。その行動はやがて
 社員にも通じ全員で朝のトイレ掃除とか。一方会社の販売実績は
 他社を抜いて断トツらしい。たかが掃除と侮る勿れ。綺麗に掃き
 清めた後の達成感、清涼感を実際やってみないと分からない。

早朝の公園や道路でゴミを拾うのも、馬鹿にする勿れ。数学者
 ベスタロッチは、公園で物を拾い懐に入れた所、見ていた警官が
 疑って取り出させたら実はガラスの破片だったという。これは後
 人の語り草になった。本人にしてみれば、やったことは傍で何と
 思われようが誰にも言えない本人だけの見識であり、キリスト者
 の貴い善意の実践の姿でもあると思う。

長年書道教育に携わる身だが、授業の終了時毎回二名の生徒に
 せめて机上だけでも拭き掃除をして貰っている。先刻の、トイレ
 掃除と会社の業績が比例した話を申す迄もなく、不思議なもので
 掃除をきちんとやり雑巾を上手く扱える生徒とそうでない生徒で
 は、書道に身が入るか否かが比例するという事は永く実態を見て
 来た私には、実感として断言できる。掃除を軽く見る可からず。
 我々の生の根幹に係る事柄だから。そういう心根の上に勉学にも
 身が入り、思いやりの心も自然に育まれると思う。

社 務 日 誌

第二十三回式年祭を挙行

平成十七年十月一日、崇敬者参列の下
第二十三回式年祭を執り行いました。



▶ 祭典の様様

▶ 社殿前にて記念撮影

もちつき大会を開催

平成十七年十二月十八日（日曜日）



▶ もちつき大会の様様

毎年恒例の餅つき
を開催致しました。
例年のない寒さと強
風でしたが、境内は
多数のご参加で賑わ
いました。

豚汁も振舞われ、
あんこ餅きなこ餅等
舌鼓を打ちました。

七五三参拝を受付

平成十七年十月より十一月迄

秋の気配が深まる中、お子様の一層の
健やかなご成長を祈願申し上げました。

燈籠・掲示板・絵馬掛を設置

平成十七年七月三十一日、蟬の鳴き響
く猛暑の中燈籠・掲示板・絵馬掛の奉献
祭を執り行いました。

◎ 掲示板は社標脇に設置致しました。

由緒並びに祭典行事等のお知らせを、
随時掲示致します。

◎ 絵馬・みくじ掛は神殿西側に設置して
おります。絵馬・おみくじは社頭にて
授与しております。



▶ 掲示板



▶ 絵馬・おみくじ掛

奉納者ご芳名

◆ 燈籠三基・絵馬掛・掲示板

計画施工 葉師寺 義和 殿
屋根銅版施工 石井板金 殿

◆ 奉納提灯

葉師寺 義和 殿	櫻田 さつき 殿
櫻田 耕七 殿	荒井 康子 殿
石井 準 殿	林 隆司 殿
飯沼 義治 殿	竹田 君子 殿
竹田 敏明 殿	林 司 殿
林 克彰 殿	平松 幹生 殿
平松 陽一 殿	細野建材 殿
鷹野 智一 殿	

(平成十七年十二月一日現在・受付順)

交通安全守を新調



佐賀錦の上
品な風合いに
仕上がりまし
た。社務所に
て頒布してお
ります。

神社パンフレットを新調

A4版三折サイズにて新調しました。
社頭にございますので是非ご覧下さい。

崇敬会だより

崇敬会活動再開のお知らせ

鴻徳神社では、昭和五十七年十二月に崇敬会を結成致しました。諸事情により暫く活動を休止してりましたが、平成十七年十月より活動を再開致しました。

鴻徳神社崇敬会

御加入のごあんない

本会では、会員の新規御加入をお願いしております。是非多くの方々に本会へご加入頂き、「五穀さま」のご神徳に一層浴して戴けることを祈念申し上げます。

●特典

社報、祭典行事のご案内、時季の特典等を郵送させて頂く予定でございます。

【当面、会費は頂戴致しません】

●入会方法

申込書に必要事項をご記入の上、FAX・郵送・ホームページよりお申込ください。

不明点はお気軽に社務所へお尋ねください。

ホームページをリニューアル



鴻徳神社に関するお知らせを、随時掲載致します。是非ご覧下さい。

ホームページURL
<http://www.kotoku-j.com/>

奉納提灯ご協賛のお願い

鴻徳神社では、奉納提灯のご協賛を募集しております。御奉納頂いた方のお名前、お店、電話番号等をお入れすることが出来ます。

趣旨をご理解賜り、ご協賛戴きますよう、何卒お願い申し上げます。



ヨコ33cm
×
タテ67cm

◆一灯 五千元

◆歳旦祭(一月)の他、祭典行事時に点灯いたします。

◆お申込、お問い合わせは社務所迄
お願い致します。

平成十八年

年間行事

一月 歳旦祭

(元日午前零時)

甘酒接待。

富くじにご参加

いただけます。

元日祭

(元日昼十二時)

二月 節分祭

節分豆を授与。

六月 夏越大祓

※ご納めでも

ご参拝いただけます

◆鴻徳神社について◆



鴻徳神社の御祭神である御食津大神、五穀大明神(五穀さま)は、災厄を払い智慧と福徳を授ける靈験あらたかな御神霊であります。皆様の厚いご信心により大神様のご神徳に浴されます様祈念いたします。

千葉県鎌ヶ谷市東初富一丁目十番二十八号
TEL・FAX 0447(444)6750

<http://www.kotoku-j.com/jinja/>

ご祈願・昇殿参拝を申し受けます。
お気軽にご相談ください。
初宮詣、厄祓、家内安全、交通安全、心願成就、自動車祓地鎮祭、ご自宅神棚設置、他

御神札、御守は随時授与しております。



心のふるさと

鷹野 智一

私のふるさとは
信州佐久・八ヶ岳
の東山麓、松原湖
畔です。自分では
信濃教育に代表さ
れる、日本一風光
明媚な大自然その
ものと自惚れてい
ます。

湖の周辺にはお諏訪さまの孫社に相当する諏方神社・上社、下社が鎮座されそれぞれ「健御名方命・たけみなかたのみ」【八坂刀売命・やさかためのかみ】をご祭神と仰ぎ、御柱、御謝山、とうかんなや、どんど焼きなど、お諏訪さまと同じ祭祀を行じて大和乃國・村人の文化が永劫に伝えられてきています。男子小学生が中心的な側役で、お神主（おかんぬし）さまや長老達より《勇氣と決断》を徹底して教えられたものと今なを感激が続いています。

父が警視庁勤務の関係もあつたのでしようか、私は中2の春、受験戦争真っ只中の東京杉並は高円寺中に転校、それ迄私の故郷・北牧村にはお寺は無い所たとは知りませんでした。お神主さまは高校の先生でもあつたことも含めてあらゆる面での絶対的な指導者で、分教場に寝泊りしている先生が補助役……：そのような村で小1〜中2の間大自然の素晴らしさ

を存分に味わうことができました。冬の松原湖は1Mの厚さで結氷し、全国大学スケート選手権大会の会場でもあり、物心両面で東京の雰囲気や学ぶこともできました。（私の家は立教大学の合宿所でした）

ところで現職中は、児童・生徒の生活生徒指導に深く関わっていきまして、近隣の警察署の方々には大変親しくご指導を賜ったその中で【現代人の特徴の一つに《ふるさと或いは、心のふるさとが無いこと》】との校内研修を受け、大きなショックを受けた記憶があります。

ふるさとが少し遠いなら、近くに心のふるさとを持ち、何でも親しく相談・話し和える場所（ヒト、もの、こと等）とすると……：。

私は東中沢に本宅を戴いています。ご縁を戴いた東初富・鴻徳神社は鎌ヶ谷市の東部地区に在り、周辺には自然が残るお宮でもあります。私はこのお宮を《心のふるさと》にさせていただき、多くの皆さまと親しく交わりがもてたら……：と祈願しております。

どうぞよろしくお付き合いください。

◆プロフィール

鷹野 智一（たかのとしいち）

習志野市立第四中学校長、実花小学校長等を歴任。鴻徳神社崇敬会評議員。

書道教室
生徒募集

月刊誌「墨心」に加盟
高野山書道大会(毎日新聞社後援)に出品

毎週土曜日
10:00-12:00 (毛筆・ペン字・写経)
13:00-16:00 (子供習字・かきかた)
※時間をご相談ください
教室：鴻徳神社社務所

清和書道会
047-444-6750
<http://www.kotoku-j.com/seiwa/>



「馬には乗ってみよ
人には添うてみよ」
寄り添う幸せを
後押しします

親身にアドバイス！
まずはお電話ください。TEL 047-442-5821

全国仲人連合会 初富支部 (櫻田さつき)

鎌ヶ谷市東初富3-29-7
新京成鎌ヶ谷大仏駅より徒歩10分
<http://www.kotoku-j.com/zenchuren/>

社報に掲載して頂ける
広告を募集しております。
(詳しくは社務所迄)



健康話題

第 1 回

生活習慣病について

医療コンサルタント

飯沼 隆司

「生活習慣病」と聞いて、皆さんは何を連想しますか？ここでは「日々の生活で身についた良くない習慣」に限定してお話させていただきます。

まず、最初に挙げる問題は食物の問題です。欧米では数十年以上前から日本食の良さを紹介しています。昔は当たり前だった、お米・玄米の主食に秋刀魚・鰯等の焼魚、納豆、味噌汁、野菜の御浸しなどの日本食が大変健康的だと紹介しています。しかしながら、現在の日本人の食事は欧米化の影響で肉食が中心となり高カロリーな食事を好んで食べるようになってしまいました。そのため高脂血症や、高血圧、糖尿病などの病気になり、心臓病や脳卒中、がんなどの病気を引き起こす元となっています。勿論運動不足や飲酒、喫煙も良くない生活習慣です。

食べたものは体内で分解され糖分に変わりエネルギーとして血液を通して体中の各組織に運ばれます。使い切れなくなった糖分は肝臓などで脂肪分として血液中に存在し、最後は皮下脂肪や内臓脂肪として貯蔵されます。要は体内の臓器や筋肉、組織で使い切れないほどの食物を食べてしまうことに問題があるのです。高脂血症や糖尿病は身体が分解・消費し切れない程食べ物を食べてしまうから、いけないのです。

肉・菓子・油の高カロリー食により体内に流れる血液はドロドロとなり血管を詰まらせたり、血管中にこびり付いて流れを妨げます。血液中に油が多いと高脂血症となり、血液中の糖分を身体がコントロール出来なくなると糖尿病となり、血管が硬くて細くなると高血圧症になるのです。脳の血管が詰まると脳梗塞、心臓の血管が詰まると心筋梗塞となり命に関わります。

そこで昔の日本食が見直されてきています。肉に比べ、魚の油はEPAが多く含まれ血液をサラサラにしてくれます。また、野菜の御浸しは、サラダに比べて見た目より沢山の野菜が食べられます。納豆等の豆類は植物性の蛋白質で、肉に比べカロリーが低く健康に良いのです。皆さんも昔ながらの日本食をもう一度見直してみてはいかがでしょうか。

会員募集

一緒に楽しくボランティア活動しませんか！

子育て支援、家事援助、施設支援
草取り、犬の散歩等々どんな活動も
1時間1点の時間預託制度です。
点数はいつでも自分や両親にも使えます。



ナルク東葛拠点ありのみの会 (古河)
TEL/FAX 047-441-0227
<http://harunoibuki.hp.infoseek.co.jp/>

「自立・奉仕・助け合い」がモットー。

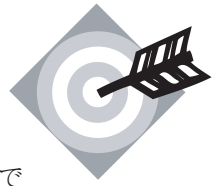
「特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ(NALC)」は
画期的なボランティア活動による全国組織のNPO法人です。

御 礼

社報の創刊にあたり、関係者各位に多大なご協力を賜りました。御礼申し上げます。

今後とも紙面の充実に努めてまいります。ご意見・ご感想を忌憚無くお寄せ戴ければ幸いです。ごさいます。

宮司 神尾 真司



ひとくち便利帖

神社や神棚には、
「二礼二拍手一拝」
でお参りしましょう。

二礼は神さまへのご挨拶、二拍手はその心を神さまへ届ける為の合図つまり音霊(おとたま)となります。

この一瞬に全身全霊を注ぎます。最後の一拝は「ありがとうございました」と感謝のお辞儀。

「競馬で儲けたい」私利私欲の願いを神さまは聞いてくれません。仕事が成就しますように、健康で過ごせますように。衷心からの願いこそが神さまに届けられるのです。もしくはお願いな事などしなくてもいいのです。心を空っぽの状態にして、神さまの波動に私たちの波動を近づけるよう心を鎮める。

これこそが、お祈りすることの本義かもしれませぬ。



社報へのご意見・ご感想をお寄せください。

FA X 047-444-6750
Eメール info@kotoku-j.com



今回社報の編集において

は、兎に角「善き言霊」を意識した。

善き言霊の発信により世に警鐘を鳴らし、読まれる

方の心を僅かでも潤したい。これを願うばかりである。「善き言霊」とは「物事の本質」であり「真理」である。道徳の教科書然り立派な経営者の話然り宗教哲学然りその「善き言霊」は皆、奥底で繋がっている。それが宇宙万物に共通する真理である。ここに「シルバーチの霊訓」というシリーズがある。シルバーチは一九二〇年から六十年間交霊会にて、英国人モリス・パーバネルの肉体を借りて言葉を発したスピリット。宗教を超越し、大切なことは「日常」であると強く説いている。以下抜粋要約。

「人の為に役立つことをしなさい」

いかなる仕事に携わっていても同じ。誠実と公明正大さに貫かれた生活を通して自らの身を修める。肩書き・形式・口先だけの文句はどうでもいい。各自の日常生活そのものが大切。他人へは常に善意で、親切に、寛容に、慈悲の心で接するのだ。自分より恵まれない人へ手を差し伸べることに、弱き者へ力を貸すこと、これが私たちの説く宗教。

決して世間の拍手喝采を求めてはいけない。

「困難こそ魂の肥やし」

むろん困難の最中はそれを有難いと思う訳にはいかないだろう。辛いのだから。しかし、後でその頃を振り返った時、それがあなたの魂の目を開かせるこの上ない肥やしであったことを知って神に感謝するはず。そこで悟りが開かれるのだ。楽な暮らしを送ってはいは、進歩も開発も個性も成就もない。

「明日刈り取る収穫の夕ネを蒔くのは今日」

当然ながら、過去は今体験している結果の原因をこしらえた訳だが、その結果に対する現在の対処の仕方が将来の結果を生み出す原因となる。よって、今こそ良い夕ネを蒔くように努力するのだ。

「その日1日、1時間、今の1分、1秒を大切に生きる」

明日を思い煩うことなく、「今」に最善を尽くすのだ。その心がけを日常生活で徹底させれば決して道を誤らぬ。貴方は煩惱を持つ人間の存在であり、未熟だからこそ地上に來ている。地上生活の目的はその「不完全な所を一つでも無くしていくこと」に尽きる。

「良心の命じるままに従いなさい」

世間や周りがどう言おうと、自分で正しいと思う事をせよ。その方が都合が良いとか得策だからではなく、心の奥でかくあるべきと確信したこと事を実行すればよい。最後にきつといいようになる。

(「シルバーチの霊訓」潮文社刊)

「真理」は教えられるものではなく、自分の中に見出すものもある。まさに今何を見出せるか。経験多き人生を歩みたいものだ。